

女性のまなざしでしなやかな社会を

特定非営利活動法人ウィメンズアイ

2018年度活動報告書·決算報告書 2018年6月~2019年5月





2018.6-2019.5

# 南三陸町の拠点づくりとエンパワーメント

女性たちが立ち寄れる場所、集える場所、学べる場所を

宮城県南三陸町入谷のウィメンズアイ事務所 (旧林際小学校音楽室) と同じ敷地内 の校舎の宿さんさん館 (旧林際小学校本館) 利活用を進めています。

ウィ事務所を気軽に訪ねる「オープンデー」や、さんさん館食堂で働く女性たちとの毎月1度の食堂イベント「しゃいん食堂」(2回開催42名参加)、さんさん館でのマルシェ(2回開催 計818名来場)、宿泊研修会場としての利用(1回開催)などで可能性を広げ、ウィの活動拠点として地域内外に知られるようになってきました。

情報掲示版は市民活動の普及告知にも一役買っています。町の中心から離れて人目を気にせず来られることから、女性の相談事業の拠点にもなっています。「用事がなくても来ていい場所」「ちょっと話を聞いてもらいたくて寄った」という声が増えてきたのは嬉しいことです。

ウィメンズアイ事務所の訪問・利用者数は392名(2018年6月~2019年3月)を 数え、さんさん館本館と合わせて講座やイベントの会場として74回利用しました。



第2期

# WEと一緒に小さなナリワイ塾

非電化工房主宰・藤村靖之氏による「月3万円ビジネス」の考え方に基づき、地域に根ざし自分のペースで続ける小さな仕事(=ナリワイ)を生み出す考え方を学び実践する連続講座の第2期を開催しました。地域の困りごとを集めるワークなどを通して自分たちで「できること」を探ろうとする意識の変化がみられ、自分の強みが商品・サービスになった方が新たに4人生まれました。第1期参加者からも、講座に刺激を受け資格取得に向けて勉強を始めた方、コンテストに応募した方、屋号をつけてあらたにサービス提供や販売をする人などが増えています。

また、ナリワイ塾参加者をはじめ希望者をつのり、「WE くらぶ南三陸サークル」をスタート。スキルや強み弱みなどを登録してもらい、交流しながらマルシェ出店などの小さな仕事のマッチングを行なっています。

### 実績

- ・小さなナリワイ塾講座9回開催 37名参加
- ・WEくらぶ登録者数33名
- ・地域ニーズとのマッチング13件、たがい市へのナリワイ実践者の べ28名出店
- ・ナリワイ実験・実践の機会提供(「ついでカフェ」参加者15名、 「ひなマルシェ」1回開催 9名出店 来場者105名)
- \*この活動は、みやぎ地域復興支援助成を受けておこないました



# エンパワーメント講座とワークショップ

### 女性のエンパワーメントに役立つ講座を「コミュニケー ション」「カラダとココロ」「スキルアップ」のテーマで組

み立て開催してきました。 講座を通じて人と出会い、自分の考えを深めることで、 「元気になれた」と語る女性は多く、なかなか自分の意見 を言えないという方から「ウィの講座では安心して自分ら

しくいられる」という感想をもらいました。

コミュニケーション講座では「自分が気づく事でまわりも変わっていくという事があらためてわかった」との声があがったほか、先輩の体験談を聞く「トークサロン」では「『生き方のロールモデル』を見つけられた」という感想もありました。起業女性向けの講座では、同じ町内でも話す機会



がなかったという 人たちの間につな がりが生まれてい ます。

講座をきっかけ に地域課題を知

り、参加者自身が発案する企画や講座、派生するコミュニティ活動が増えました。例えば「赤ちゃんとわたしの井戸端会議」で知り合った参加者たちは、ママたち同士での子ども預けあいグループをつくり自主運営をはじめました。

### 実績

### エンパワーメント講座

- ・ヨガ教室、カラダゴト講座 24回開催、のべ86名参加
- ・ストレスのないコミュニケーション講座 6回開催 のべ16名参加
- ・先輩の体験談に学ぶ「トークサロン」ゲスト: NPO法人奏海の杜 太齋 京子さん 8名参加
- ・起業女性講座 山あり谷あり 自分のしごと〜山梨発 未来を切りひらく女性起業支援の現場から〜 講師: 芦澤香さん 1回開催 13 名参加
- ・赤ちゃんとわたしの井戸端会議 3回開催 のべ14名参加

### ワークショップ、交流会

- ・拠点づくりワークショップ 3回 のべ16名参加
- ・ウィ事務所オープンデー 2回開催 述べ35名参加、交流会21名参加
- ・「月3万円ビジネスとは?」 非電化工房1泊2日視察研修 6名参加
- ・WEくらぶ南三陸サークル〜旅するごはん会 5回開催 のべ43名参加
- \*この活動は、「タケダいのちとくらしプログラム」の助成でおこないました。

# 女性のしごと相談事業

2017年10月よりウィは子育て女性就職支援事業の気仙沼・本吉圏域拠点として、産業カウンセラー、キャリアコンサルタントによる相談窓口を開設し、就業に役立つスキルアップ講座、地域で「子育て中の女性が働く」ことへの理解を進めるためのセミナーを開催しています。

今年度の男女共同参画セミナーでは、企画段階から地元ママサークルの協力を得て、子連れで参加しやすくなる工夫を取り入れ、本当に聞いてほしい層の参加が多くみられ、2会場であわせて計81名の参加がありました。地元の男性に会場ボランティアをお願いしたり、気仙沼青年会議所に後援いただくなどし、男性の参加も27%ありました。

### 実績

- ・女性のしごと相談室開室66回 (2018年4月~2月)、のべ13名利用
- ・子育て女性の就業促進にかかわるスキルアップ講座 アンガーマネジメント講座 1回開催 5名参加
- コミュニケーションカアップ講座 4回開催 のべ18名参加
- ・子育て女性の就業促進にかかわる人権 男女共同参画セミナー 「笑って考えよう 暮らしのこと しごとのこと 子どもたちの 未来のこと」
- 講師 瀬地山角 (東京大学大学院教授)
- 気仙沼会場 44名参加、南三陸会場 37名参加
- \*この活動は宮城県子育て女性就職支援拠点育成補助金を受けておこないました



# コミュニティと エンパワーメント

テーマ型コミュニティが地域とつながり、 力をつけ、成果を出しています

一人一人の力を持ち寄ることが地域の元気につながりま す。地域の人たちと一緒になって、活動の事務局を担った り、サポートを行うほか、協働でイベントを開催するなど しています。震災後の町づくりが進み、既存の行政区に加 え、新たな地区が生まれました。そこに暮らし始めた人だ けではなく、周囲の住民の関わる余白があることでコミュ ニティが育っています。



## みんなの子そだてフェスタ

ママサークル 「やってみるもん! 委員会」と「第4回みんなの子そ だてフェスタ」を共催。「果報団子」 をふるまい、小さな子どもが地域 の風習を体験し、多世代の笑顔が ひろがりました。

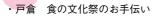




来場者217名 出店者(子ども向けプログラム含む):13組 キッズダンス:2組 協力:歌津地区復興支援の会 一燈、一般社団法人さとうみファーム



南三陸町でのこれまでの活動を通じて生まれた女性グループや、つな がりのある既存地域グループのお手伝いをしています。地域行事では、 女性たちが団結力を見せて元気な地域の姿を見せてくれます。中でも段 取りやきめ細やかな心配りは女性たちの力が発揮されます。



2016年度に「南三陸まなびの女子会」新田食の文化祭視察に戸倉婦人会の女性たち が参加したことがきっかけとなり、戸倉公民館主催のもと地域の家庭料理を披露する 「戸倉 食の文化祭」が行われた。92点の料理が出品され、200人以上の来場者を 集め、女性たちの活動が震災後の地域社会のコミュニティの再構築に大きく貢献した。

- 南三陸まなびの女子会 1回開催 10名参加 多世代の女性で町の未来や課題を語ったり学んだりする会
- ・りあんの会(刺し子サークル) 23回開催 のべ141名参加



南三陸町社会福祉協議会(以下、社協)との協働で、南 三陸町内の高台の災害公営住宅・団地への出張マルシェ「小 さなたがい市」をスタートしました。買い物に不自由して いた住民たちに喜ばれ、高台に賑わいが生まれただけでな く、独居高齢者や被災後離ればなれになった住民、新しく できた地域の集合住宅入居者、防集住民などの交流の場に なりました。

また、WEくらぶメンバーやナリワイ塾生たちが店頭に 立つことで、これまで接点のなかった町内および近郊の若 年女性たちと高台の被災者生活を支える社協スタッフとの 関係性が生まれました。同時に、若い女性たちが自分の考



えたことを実践して販売 に来るということが地域 住民に新鮮な驚きを与え、 いきいきした前向きな活 躍が元気な空気を生んで います。こうした効果を みた観光協会や他団体か らイベントへの出店や協

力依頼を受けるようになり、 マッチングに生かすという 好サイクルがうまれました。

2018年8月には南三陸町 社会福祉協議会の「みんな の居場所・ささえあいの拠



点 結の里」の運営協議会委員を事務局長栗林に委嘱して いただき、社協との関係性がより深まりました。社協ボラ ンティア「ほっとばんく」からウィの講座やイベントで託 児などにシニアボランティアを派遣していただけるように なったことで、より活動がしやすくなったと同時に、これ までつながりがなかった町内の方々に活動が認知され、理 解をいただけるようになりました。

小さなたがい市~女性たちによる高台出張マルシェ 4回開催

- ・10月18日 会場 社協 結の里リアスふれあい広場 来場者150名
- ・10月31日 会場 歌津老人福祉センター 来場者80名
- ・11月4日 会場 社協 結の里リアスふれあい広場 来場者80名
- ・11月8日 会場 戸倉沖田地区集会所 来場者100名

### うみさと暮らしのラボ ~里山・里海の資源をいかす小さな仕事とネットワークづくり

「おいしい・楽しい・すこやかなくらしをこの土地で」を合言葉に、この 土地でつづく暮らしをコンセプトに、南三陸のめぐみと暮らしの知恵をま なびつなぐ活動をしています。





### パン菓子工房Oui

ウィの運営するシェア加工場「パン菓子工房Oui (ウィ)」では、16名が 利用登録し、自分の屋号でパンや菓子などの製造販売を行いました。その うち、2名は工房利用後、起業につながっており、加工場を利用した実践が 女性たちの事業のスタートアップに寄与しています。

「作る喜び、買った人が喜んでくれることが実感できた。 今秋には隣市に自分の工房を開きたい」(『いずみぱん』 水野いずみさん)

ウィのパンイベント出店 28回 2018年7月、2019年2月 スキルアップ教室の開催



### ひころマルシェ事務局としての活動

・ひころマルシェ2018年初夏 6月3日開催 出展数50ブース、来場者1539名(うち子ども約600 名)、ボランティア24名

会場:ひころの里 広場

主催:ひころマルシェ実行委員会 共催:ひころの里

・ひころマルシェ2018年秋 10月7日開催 出展数42ブース(台風の影響で3ブース出店取りや

め)、来場者704名、ボランティア47名 会場: さんさん館 体育館/裏庭/一部校舎内

主催:ひころマルシェ実行委員会 共催:ひころの里

### その他の活動

- ・里山体験受け入れ(竹の活用、南三陸杉のスツール制 作)5回開催 56名参加
- ・サークル事務局 たけくらぶ3回開催 のべ9名参加
- ・ひころの里映画上映会「おだやかな革命」事務局 主催:里山交流促進協議会 場所:ひころの里 松笠 屋敷

### 映画上映2回 計63名参加

- トークセッション 「これからの里山の豊かさを考え る パネリスト 渡辺智史 (映画監督)、山内明美 (宮城教育大学准教授)、佐藤太一((株)佐久専務取 締役) 計34名参加
- ・南三陸の中世勉強会(共催:南三陸研究会)講師 田 中則和(前宮城県考古学会会長) 4回開催 のべ173







# グラスルーツ・ アカデミー東北2018

東北被災3県の草の根で活躍する 若手女性リーダーシップ研修

予定した3年間の最終年度として2回の国内研修を開催。お互いの経験から学び合い、他者の学びに自らも貢献するというスタイルで、参加者たちは成功だけではなく失敗や困難も共有しながら成長してきました。アカデミーの仲間は、情報交換や協働、友情と信頼のネットワークとしても機能しています。



### グラスルーツ·アカデミー東北 2018 in 宮城

活動を継続する

参加者同士の信頼づくりかられて、 もいかられて、 もいかられて、 をでして、 をでいるででででいるでは、 をでいるでは、 をでいるでは、 をでいるでは、 をでいるでは、 をでいるでは、 をでいるでは、 でいるでは、 でいるなが、 でいるが、 で





た。「女性ならではのしなやかな戦略がとても学びになりました」との感想がありました。

また、米国日系4世のクレイグ・イシイさんからは事業 継続について学びました。上の世代から受け取ったものを 後輩たちに返したくなる循環を通して、失われつつある日 系アメリカ人社会の価値観や行動様式を次世代に引き継 ぎ、若者リーダーを育て続けています。大いに参考になる 事例に、会場からの質問も止まりませんでした。

### データ

日時:2018年11月9日-11日 会場:南三陸町 校舎の宿さんさん館ほか 参加者:18名 内容:チームビルディング体験/みんなの活動紹介/事例1 講師:上山八幡宮禰宜 工藤真弓さん/事例2講師:社会事業家 クレイグ・イシイさん (ロサンゼルス NPO KIZUNA創設者) /先輩たちからの話題提供:鎌田千瑛美、阿部美和、佐藤美代子

### グラスルーツ·アカデミー東北 2019 in 福島

つながりを取り戻すワーク~ウィメンズサークル

最後のアカデミーでは、ディープエコロジストのジョアンナ・メイシーが開発したアクティブ・ホープのワークを行いました。アクティブ・ホープは、世界中で平和と公正な社会を目指す人々が、自分の中に炎を灯し続ける手段として取り入れています。本来1週間前後の内容ですが、他の2つの要素を組み入れ3日間の特別プログラムに組み直して開催しました。

開催後、「自己肯定感」を持てたと語る女性が特に多く みられました。「これまでと違って、他人の目(評価)を 気にしなくなった。人に優しくできるようになった」「自 己開示ができるようになり、そのおかげで周囲の人も心を 開いてくれるようになった」という声とともに、参加者の

周囲からも彼女らが「(前向きに、オープンに、明るく)変わった」という評価を複数いただいています。



### データ

2019年5月10日-12日会場:福島市飯坂温泉伊勢屋参加者:15名内容:つながりを取り戻すワーク(アクティブ・ホープ)、ムーブメント・メディスン、バイブレーション・メディスン(講師:斎藤由香(ファシリテーター)、宮田恵(ダンサー)、伊藤マナ(高野山阿闍梨)



### エンパワーメント、他地域への波及

ウィのエンパワーメントの取り組みが知られるようになり、視察・交流のほか、研修の提供やアドバイザーとしての役割が増えてきました。

例えば一関市の「せんまや100人女子会」は 女性たちが自らの手で地域を元気にしていこう としており、視察後、ウィの考え方や取り組み を取り入れたいとの依頼にもとづきウィメンズ



アイで研修を開催しました。同時にWEくらぶと「せんまや100人女子会」の交流が生まれ、千厩での継続的なイベント出店にもつながっています。

また、復興庁地域づくりハンズオン事業でのアドバイザーを委嘱していただきました。宮城県東松島市野蒜まちづくり協議会に女性視点での地域コミュニティ



育成のコンサルティングと伴走支援を行い、 子育てママたちのニーズを知り地域とつなげる「のびるママのほっとすペーす」の企画づくりと開催をサポートしました。この活動は、 同まちづくり協議会によって2019年度みやぎ 地域復興支援助成金採択事業のひとつとして 継続しています。



### データ

- ・代表 石本めぐみによる登壇・講演 さいたま人権啓発研修会/貝塚市男女共 同参画講演会「決断×行動=らしく生き る」/日経SDGsフォーラム「震災復興と 持続可能な社会創り」/公開シンポジウム「女性と防災~次世代につなぐ協働の 実践~」/ほか計18回
- ・事務局長 栗林美知子による登壇・講演 帯広市男女共同参画講座「女性のまなざ しを~もっとかがやく町内活動~」/志 津川高校講話/ほか計6回
- ・スタディッアー、研修受け入れ JICA 2018年度課題別研修「ノンフォーマル教育の推進」コースほか、6本

### 2018年度決算報告(概算) 2018年6月1日~ 2019年5月31日

収入 (円)	18,592,484
助成金・補助金	9,667,443
自治体からの助成金・補助金(*1)	5,357,187
民間からの助成金など (*2)	4,310,256
寄付	1,613,465
プロジェクト指定寄付 (*3)	162,463
一般寄付(*4)	1,451,002
事業	7,098,862
交流事業	106,520
人材育成事業 (*5)	2,000,000
人材育成事業	885,156
うみさと暮らしのラボ事業	777,372
うみさと暮らしのラボ事業 (パン菓子工房事業)	2,263,221
広報事業	1,066,593
会費	208,000
その他	4,714

18,592,484
21,437,656
532,207
1,977,201
14,818,374
1,537,924
2,423,583
148,367
500,307
122,001

当期正味財産増減額	<b>▲</b> 3,467,480
前期繰越正味財産額	7,760,048
次期繰越正味財産額(*6)	4,292,568

- \*1 内訳:みやぎ地域復興支援助成金、宮城県子育て女性就職支援拠点育成補助金
- \*2 内訳: あい基金、タケダ・いのちとくらし再生プログラム第2期 「新しい東北」連携セミナー制度
- \*3 FOR EMPOWERING WOMEN in Japan様(グラスルーツ・アカデミー東北事業)などを含む。
- \*4 寄付者名簿(5万円以上)はホームページにて掲載しております。
- \*5 平成30年度地域づくりハンズオン支援事業(専門家派遣型)における野蒜まちづくり協議会に対するアドバイザリ業務
- \*6 複数年度にまたがる事業へ助成金などが含まれます



# Message from Women's eye

復興の過程で地域を元気にするには女性の力が不可欠であり、地域で女性が活躍 しにくい文化に対処することが女性のエンパワーメントの鍵であるという問題意識に

真正面から取り組むことができた年になりました。また、拠点を構える南三陸町では、 これまでの町内での女性支援活動が認められ、代表石本が平成30年度(2018年

10月-2019年3月)南三陸町男女共同参画計画策定委員会委員を委嘱されました。

3年間のグラスルーツ・アカデミー東北でともに成長してきた草の根の女性たちが、 岩手、宮城、福島の地域に新しい風を起こし始めています。初期の参加者は講師となっ

てその経験を若い世代に伝えてくれています。最後の研修では、ウィメンズサークル ……輪になって対話する女性たちの場が生み出す、いのちの流れをケアするパワフ

ルで前向きな力に触れることができました。

ウィメンズアイはいつも、未来をともにつくる仲間を男女問わず求めています。



## WEのビジョン

女性が自らをいかし元気に活躍できる

## WEのミッション

女性たちが、地域、社会につながるプラットフォームとなる 女性たちが必要な力をつける機会をつくる 災害を経験した女性たちの声を内外に届ける

東日本大震災後の復興支援の経験から、 地域が続いていくために女性の元気が欠かせないと気づきました。 私たちの活動は皆様に支えられています。 どうか、ウィメンズアイを応援してください。

### クレジット決済寄付

寄付サイトSyncableを通してお手続きいただけます。マンスリーサポーター(毎 月定額寄付)、あるいは今回のみ寄付をお選びください。

https://womenseye.net/support

### 振込による寄付

右記連絡先宛に、お名前、ご連絡先、お振込予定 日、領収書の宛名をご一報ください。

### 振込口座

〈銀行の場合〉

ゆうちょ銀行

金融機関コード9900

店番:818 預金種目:普通

店名:八一八店(ハチイチハチ店)

口座名:特定非営利活動法人ウィメンズアイ

口座番号: 1966320 〈郵便局からの場合〉

郵便振替口座: 18190-19663201 口座名義:トクヒ)ウィメンズアイ





### 特定非営利活動法人ウィメンズアイ

https://womenseye.net

https://www.facebook.com/Womenseye20130604/

### **Twitter**

https://twitter.com/womenseyel

住所 〒986-0782

宮城県本吉郡南三陸町入谷山の神平10-1

**TEL** 0226-25-9517

**FAX** 0226-25-9519

メール info@womenseye.net

### ○2018年度末現在

正会員31名、賛助会員14名、スタッフ総勢:9名

ボランティア参加者数:年間のべ164名

事務局長 栗林美知子

○役員一覧

代表理事 石本めぐみ

副代表理事 橘高真佐美(弁護士)

理事 西村和代((株)カラーズジャパン代表)

理事 清野浩司(中小企業診断十)

理事 塩本美紀 (編集者・ライター)

理事 江本嘉伸(地平線会議代表世話人)

理事 田島誠 (認定NPO法人環境エネルギー政策研究所)

理事 田浦佐知子(研修ファシリテーター)

監事 成田由加里(公認会計士・税理士)





